

### 3 高等学校

◇ 高等学校における実践事例 .....	102
----------------------	-----

## 領域にかかわる実践事例

宮城県中新田高等学校

### 実践名：「職場体験活動」

領域：総合的な学習の時間（普通科2年）

◎ 実施期日（期間） 平成25年 7月22日～24日（3日間）

◎ 志教育にかかわるねらい（**かかわる・もとめる・はたす**）

- ・ 職場体験活動をとおして職業に対する理解を深め、社会人として必要な行動や考え方を  
知る。（もとめる はたす）
- ・ 将来の職業選択能力の育成と地域の一員として生き方の自覚をもつ。（もとめる）
- ・ 社会人の方と接することにより、異年齢層の方とのコミュニケーション能力の向上を図  
る。（かかわる）
- ・ 学校での学習と実社会との関連を学び、広い職業意識を養う。（もとめる）

◎ 具体的な学習・活動の流れ

#### 1 体験企業の決定

- ・ ガイダンスや進路講話をとおし、働くことへの理解を深める。

#### 2 協力企業の開拓

#### 3 企業とのアポイント

- ・ 協力企業への依頼や打合せを生徒自身で行う。

#### 4 事前指導

- ・ 職場体験の主旨の再確認、マナーや心構え、日誌等の記入について指導する。

#### 5 職場体験活動

- ・ 協力企業の指示に従い、原則3日間の体験活動を実施する。

#### 6 事後指導

- ・ 活動のまとめおよび礼状作成

◎ 指導のポイントや手立ての工夫

- ・ ガイダンスや講話をとおして事前に働くことの意味と仕事の内容について意識を持たせ  
積極的に職場体験に取り組めるように進めた。また、協力企業の開拓について、加美商  
工会、加美町役場企業立地推進室、宮城マネジメント協会へ企業紹介の依頼をするなど、  
外部機関との連携を図った。まとめについては、一人一人が「働くとは」というワンフ  
レーズで最後を締めくくらせることで、職業体験の意味を再認識させることができた。

◎ 実践を振り返って

**成 果**

事前と事後のアンケートから、コミュニケーションや「働く」ことへの自信の  
向上、「働く」ことへの理解の深化、進路意識の向上等改善が見られた。また、  
協力企業からの評価も概ね良好であり、生徒自身も働くことに対し実感できる  
ものをつかめたようである。

**課 題**

職場体験活動を実施する上で、御協力頂ける企業と生徒の希望等をマッチでき  
るよう一層の企業開拓が必要になる。また、日常の学習が将来にどのように繋  
がるかを意識させられるようすることが課題である。

**その他**

一つの活動の中に多くのねらいを持たず、的を絞って行うことにより成果が上げら  
れる。今後も、目標をより明確にし、教師生徒共に理解を深め取り組んでいきたい。